

# 広袴便り

広袴町内会  
会報第 50 号

発行日  
令和 2 年 1 月 1 日

発行責任者  
広袴町内会  
石倉 秋夫



## 新年のご挨拶

【会長 石倉 秋夫】

年頭のあいさつ

新年おめでとうござい  
ます。令和も二年目を迎え  
ました。そこで一つ提案を  
させていただきますと思い  
ます。



「防災に対する知識の向上  
と備え」これは常に頭の中  
にあります。これは常に頭の中  
にあると思います。

私達の生活する中で、各家庭によって防災に対す  
る考え、備えはかなり差があると思いますので、再  
度見直す年にしてはいかがでしょうか。

私事になりますが、昨年台風十五号が千葉の房総  
半島に上陸した晩、私は会長研修があり鴨川に泊ま  
っておりまして。翌朝一番に町田にたどり着くため  
に宿舎をバスで出発しました。窓から見る景色は本  
当に悲惨でした。家の倒壊、車の横転、無信号、コ  
ンビニや商店も停電で真っ暗、トイレも不自由しな  
がら木更津まで倒木の山道を抜けてなんとか夕方、

広袴までたどり着きました。

台風は情報があり事前の準備が出来ていてもあの  
惨状でした。これからもっともっと真剣に考えなけ  
れば成らないのは何の情報も無く突然やってくる地  
震に対する備えでしょう。最近テレビ、新聞等でも  
防災に対する準備や行動に関する報道が多くなって  
います。私たちも知識を高め、それに備えましょう。  
町内会で実施している「防災訓練」のレベルアッ  
プを防災防犯部・防災プロジェクトチームの皆さん  
と現在、話し合っております。是非多くの人の参加  
をお待ちしております。

【副会長 池内 正雄】

年頭のあいさつ

新年明けましておめで  
とうございます。今年も  
令和の年にふさわしい広  
袴町内会の活動が期待さ  
れています。私も微力な  
がら広袴会館などの運営  
と町内活動の縁の下のな  
奉仕が出来ればと存じます。

本年は広袴会館竣工の年より十五年目を迎えま



す。NPO顧問建築家機構の支援を頂き会館維持改  
修計画の基に補修箇所調査と点検により町田市へ  
の補助金申請手続きを遂行し、補助金交付を得た後  
に会館改修作業を促進いたします。

会館設備は男子トイレの自動水洗化及び防犯設備  
などの新設、使いかつてのよい館内設備変更、些細  
な事ですが会館の全スリッパ更新など衛生向上で快  
適な会館を目指して会員皆様のご協力を賜りたく思  
っています。

町内会活動に新しいテーマも取り込み老若を問わ  
ず楽しい町づくりを寄与いたしたく今年も宜しくお  
願い申し上げます。

【副会長 山際 哲明】

年頭のあいさつ

令和の新しい年を迎え  
町内会の皆様あけまして  
おめでとうございます。

今年はおリンピックの祭  
典が開催され、沢山の外  
国人が訪日されます。そ  
して日本の各地域の文化  
や風景等を見て頂ける良い機会になると思います。

私は六年前に防災防犯部に在籍して以来、今回新  
たな役割で身の引き締まる思いでしたが皆様のご協  
力に助けられ、今日まで頑張れることができました  
事に感謝申し上げます。

現在、防災防犯部と環境厚生部を担当しておりま  
すが、近年報道等で災害が各地域に渡り多発してい



る現状を見ましてもいっどこで災害に見舞われるかわかりません。幸いにして広袴地区はまだ災害は発生しておりませんが、町内会の安心、安全を第一に緊張感を持って、市の勉強会及び訓練等を委員共々取り組んでおります。

また環境厚生部としては周辺を綺麗にし、気持ちの良い町作りを目指しておりますので、皆様のお力添いとご協力をよろしくお願い致します。

### 【副会長 柏 司浩】

年頭のあいさつ  
皆さんあけましておめでとございます。

昨年は町内会の皆様のご協力により無事に一年間、町内会の運営ができました、誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。今年も皆様のご協力により



- ① 安心安全なまち
- ② 子ども・お年寄りを大切にすま
- ③ きれいで清潔なまち
- ④ 伝統文化を大切にすま
- ⑤ 御近所と触れ合いのあるまち

など広袴町内会五項目の目標に向かって町内会の皆さんの御協力、御指導を頂き町内会の運営をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 神社 例大祭

令和最初の年、9月28日(日) 神社の例大祭が執り行われました。

前日の18時、前夜祭ともいえる宵宮祭が行われ、普段はひっそりとした鎮守の杜ですが、参道に灯籠が灯され風情がありました。

子供会の皆さんが装飾した灯籠の数々を見ながら参道を上って行くと、明日のお神輿が準備されている傍らで皆さん楽しんでおられました。



当日は式典の後、13時より

お神輿の始まりです。雨の心配をよそに日が差して少し汗ばむほどの陽気に恵まれました。

最初に大太鼓(山車)、続いて子供神輿、大人の神輿の順に太鼓や「わっしょい、わっしょい」の声に合わせて街を練り歩きます。お社の上の階段にもみ殻が撒かれていたのが収穫への感謝を表しているようで印象的でした。警察のご協力のもとパトカー

の先導で無事終了しました。消防含め町内の皆さん

んお疲れ様でした。

来年は東京オリンピックの時期に行われます。台風や秋雨の時期ですが天気に恵まれますように。(西野)

## ウォークラリー・運動会

鶴川地区市民運動会が、10月20日(日)野津田陸上競技場と公園内において、開催されました。主催は鶴川地区町内会自治会連合会で、「ウォークラリーと運動会」の名称で、毎年、行われています。

広袴町内会をはじめ鶴川地区10町内会(広袴のほか、野津田、真光寺、上三輪・下三輪、能ヶ谷、金井、つる川和光台、やくし台、鶴川五丁目、大蔵町)から大勢の皆さんが参加されました。

午前9時30分から開会式。午前中はウォークラリー。9つのチェックポイントがある「がんばりコース」、平坦な部分の3つのチェックポイントがある「ファミリークース」の2つがあり、同時進行で、グランドゴルフが多目的の広場で行われました。

午後は、競技場内で未就学児の「おみやげな」に、小学生を対象とした「50m」「100m」の徒競走、幼児と六十五歳以上の「紅白玉入れ」、小学4年生と一般男女の「大玉ころがし」、「二人三脚」、中学生以上の



「800m走」、等盛りだくさんのプログラムが行われ、「町内対抗親子リレー」では、広袴町内会チームが1位となりたくさんの方の声を頂きました。

また、同時並行で無料の健康チェックコーナーが設けられ、体脂肪、握力、骨密度、お肌の水分測定等が行われ、午後3時、閉会式が行われ、事故もなく無事終了しました。

担当された環境厚生部の皆様はじめ、大会運営の実行委員会の方々、消防団第三分団の方々、本当にありがとうございました。(黒澤)



## 作品展示会

10月26日(土)〜27日(日)広袴会館において、毎年恒例となっている作品展示会が開催されました。

ものによって形が異なったり、複数のもので組合せられたりして数え方は難しいのですが、今年の出展数は、絵画が22点、書道が11点、手芸品が約30点、切り絵が9人、16点、子供会が17点と、延べ約100点でした。

出展していただいた方々をはじめ、非常にたくさんの方々に見に来ていただき、たいへんありがとうございました。

ございました。

また、10月27日(日)午前には、健康増進を目的としてこの展示会に併せて、2階の和室において体組成計による健康チェックが行われ、こちらにも多くの方々に参加していただきました。

実行委員会を務める文化部の皆様、本当にありがとうございました。(黒澤・塚田)



## クリーンアップデー

11月10日(日)3回目のクリーンアップデーが行なわれました。

「祝賀行列の儀」パレードが行なわれる秋晴れ空の下、午前9時から広袴公園周囲の落葉や雑草等集めて午前10時頃無事に終了しました。(西田)



# サークル訪問

## (絵画教室)

今回は絵画教室を訪問し取材をしてきました。

今年の8月に発足したばかりでまだメンバーは5、6人ということですがこれから増やしていきたいとのこと。当日は3人の方がいらっしやいましたので早速、質疑応答形式で取材を行いました。

### ◆絵画教室を始めたきっかけは◆

「現在、広楽会の方でさかんなのがグラウンドゴルフと輪投げなんです。両方とも運動関係なので文化関係で何かないかと考えている時に絵画教室はどうだろうかと思いつきました。絵画ならば町内にも昔取った杵柄で絵心のある方々もたくさんいらっしやるだろうし、その方達と集いながら楽しめたらいいなということになりました。(大久保さん)」

### ◆絵のテーマはどのように決めていきますか◆

「絵のテーマやモチーフは個人が自由に決めていきます。画材も絵具、クレヨン、色鉛筆、なんでも構いません。人物でも風景でも描きたいと思ったものを描けばいいのです。(大久保さん)」

「私は子どもの頃、絵が好きでしたが、なかなかき



代表の大久保さん(右)

谷岡さん(中央) 鈴木さん(左)

っかけが掴めずにいました。最近、無性に絵が描きたくなりこれを機に参加しました。これから自分に合うテーマを見つけていくつもりです。(鈴木さん)

### ◆絵心が無くても参加できますか◆

「絵は上手い下手ではありません。感性だと思えます。たくさん描いている内に自分のスタイルというものが出て来るものです。例えばひとつのリングを写真的に本物そっくりに描いても、デフォルメしてぼかして描いても、要は食べなくなるようなリングであればそれでいいのです。(谷岡さん)」

### ◆絵を描いている時のお気持ちは◆

「何も考えずに没頭できると思います。日頃の煩わしいことも忘れてとても良いストレス発散になりますよ。何かを生み出すということはどんな小さなことでもクリエイティブな行為です。人間、創造的な意欲や楽しみたいという欲求が弱くなると元気も無くなってしまうものです。ぜひ私たちと一緒に絵を描いて楽しみましょう。(皆さん)」

とのことでした。町内の皆さんぜひ絵画教室に参加されて一緒に絵を描かれてはいかがでしょう。

(内田)

- 第1, 3水曜 13:30~
- 広袴会館にて
- 参加費 ¥100/回
- 090-1217-3254 (大久保)

## 広袴町内会、サークル等からのお知らせ

### リズム体操

- 火曜日 13:00~15:00 (体操)
- 15:00~17:00 (コミュニケーション)



- 広袴ホール1, 2
- 武藤陽子 042-736-8541

### 月曜喫茶

- 第4月曜 13:30~

- 健康維持体操

- 参加費 100円/回

指を動かしながらお茶を飲みましょう!



042-735-0698 (洞口)

### ボール体操

- 第2・4金曜日 10:00~12:00

- 広袴ホール1 & 2

- 参加費 300円

- 事前申込み不要



広袴町内会には上記以外にも多摩合気会、麻雀、町トレ、囲碁、英会話、ヨガ、ダンス、詩吟、等たくさんのサークルがあります。このコーナーを通じて少しでもサークル活動の活性化にお役に立てるよう今後も紹介をしていく予定です。(掲載の順番は申込み順となりますのでご了承ください)

サークル掲載の申し込みは  
広報部 有賀、内田まで  
<info@hirohakama.org>

# 広袴おりおり

第22回

## ジョウビタキの自虐



冬になると、胸、腹、尾にかけて橙色を

した小柄な鳥を様々な場所で見掛ける。越冬の渡り鳥、ジョウビタキである。繁殖期ではないので単独行動をしているが、一定範囲を縄張りにおいて、しかも人をあまり恐れないので、とても観察しやすい。

写真①は真光寺川沿いでのオス、②は広袴池でのメス、③は遊歩道東端のハナモモの丘でのメス。写真の通り、見た目でオスメスの区別が簡単に分かる。昆虫類を捕食したり木の実を食べたりしているが、④のオスのように地面で餌を捜すこともある。



① 2015, 2, 24



② 2015, 2, 24



③ 2016, 3, 4



④ 2015, 1, 17



⑤ 2014, 12, 18



⑥ 2014, 12, 18

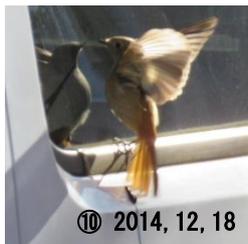


⑦

⑧



⑨ 2014, 12, 18



⑩ 2014, 12, 18

驚くべきは縄張り意識の激しさ

である。ネット等の情報によると、縄張り争いを見掛けることは珍しくないようだ。だが、ある時、それが高じた珍妙な生態を目撃することとなった。その様子を表したのが⑤〜⑪で、全て二〇一四年十二月十八日のハナモモの丘での写真である。

⑥の通り、ハナモモが周囲を取り巻いた里山の風情が豊かな環境の中、その一帯を縄張りしている一羽のメスのジョウビタキを観察している時のことであった。一角に駐車していた自動車にやたらにまわりついていると思ったら、サイドミラーやウインドに映る自分をしきりに気にしていることが分かった。写真⑦と⑧はサイ

ドミラーの上に留まってウインドに映る自分をじっと見ている様子である。だが、次の瞬間、⑨の通り、そのウインドに映る自分を目掛けて激しく攻撃を仕掛けるのであった。映っている鳥を同種の敵と見做してしまう生態で、正に自虐である。

気の毒なのは、激しく攻めれば攻めるほどミラーに映る相手も全く同様に攻めてくるし、当然いつまでも縄張りから去つてくれないという状況に陥ってしまうことである。しかも実際の相手は鳥ではなくミラーなので自分が被るダメージは少ない為、自分から諦めて退散することもありえない。かくしてジョウビタキは延々と鏡に映る自分を攻撃し続けることとなる。⑤、⑩、⑪

は、その様子を表した写真である。実際、執拗に何時間も繰り返していたし、別の日でも同様に観察された。だが、この激しい闘争本能こそが種の繁栄をもたらしたのかも知れない。

縄張りの意識高過ぎジョウビタキミラーに映る自分を攻める (16組 篠田泰蔵)



## 余話

毎年冬 寺川中流域の賑やかな鶴川二小や鶴川一丁目の各交差点付近をわざわざ縄張りにするジョウビタキをよく見掛ける。

その理由は、人をあまり恐れないこと、川洲の植物や歩道の樹木や民家の庭木が集まっていてすぐに天敵から身を隠し易いこと、そして何よりも写真のように餌となる木の実が豊富に得られることの為と推測される。



2015, 12, 10

鶴二おやじたちの会

## 広袴の宝「子どもたち」と共に

私、篠田が2004年の夏、鶴川二小で「カブト虫の楽園作り」を始めて十五年。2018年秋から毎月広袴の森で子どもたちと落ち葉を集め、カブト虫の産卵場作りを行なっています。森に入れば、ゴミが目につく。子どもたちは森の周辺のゴミを拾うようになり、「自分たちの森」の意識が芽生えたのか、木登りや基地作りを始めるようになってきました。



「広袴にこんな森があったのか」とよく言われます。町田市管理の「ふるさとの森」は、今、その整備・活用法を模索しています。その一つの実践です。

さて、新年にあたり、目標を掲げたいと思います。毎月の活動の参加者を十人以上にすること、そして、大人やお年寄りのサポートスタッフも十人以上にすることです。近隣の小学校や園にチラシを配れば、それほど難しくはないと感じています。しかし、地

元の子どもと活動することが、近所づきあいや森を末長く守ること、そして、防犯・防災意識の醸成にも繋がるかと信じてやみません。

(ゴミ拾いトングが、いつしか必需品となりました)



◎今の中心メンバーたちからのメッセージです。

「参加する人が少なく寂しいです」

「楽しいのでみんな来て！僕は毎回楽しみです」

「私が、参加する人を増やします！」

毎月の活動はFacebook「鶴二おやじたちの会」で発信します。参加希望者は4組Bの篠田(nodanoda4@yahoo.co.jp)又は、五十畑さん、中濱さんまで。

### (株)光陽測器製作所



本社/〒195-0056 東京都町田市広袴2-17-14

TEL.042(736)0959 FAX.042(736)0453

### 吉川動物病院



診療時間 / 午前 9:00 ~ 12:00

午後 3:30 ~ 6:30

日・祭日 / 休診

町田市広袴 3-3-11

☎735-3487

#### 【広報部からのお知らせ】

皆様からの風景やペットの写真・イラスト・漫画等を募集しています。ご希望の方は広報部までお送り下さい。info@hirohakama.org

(紙面の都合上、全てを掲載することはできませんのでご了承ください)

#### 広報部長

有賀正敏

#### 副部長

内田尚志

#### 編集人

黒澤正一

西野毅

吉川貴也

志村米造

田中茜

吉川佳伸

塚田秀樹

西田修